

くにみの「ひと・もの・わざ」が勢ぞろい

## 第3回くにみ産業祭開催

今年で3回目の開催となるくにみ産業祭が11月5日と6日、上野台運動公園で行われ、多くの人で賑わいました。

特設ステージでは、町文化団体連絡協議会加盟団体などによる踊りや楽器演奏、スペシャルゲストのシンガーソングライターMANAMIさんのライブやバルーンアートが披露され、会場を盛り上げました。会場内の各ブースでは、国見



新鮮な農産物が人気を集めました



特産品をPRする池田町とニセコ町のみなさん

町自慢の農産物の展示即売、町内企業による技術展示、商店街の産品の販売、国見バーガーやクレープなど飲食物の販売が行われ、人気を集めていました。また、国見町と交流のある北海道ニセコ町と岐阜県池田町からは職員が来町し、それぞれの特産品であるじゃがいもや美濃いび茶などの販売も行われ、来場者は各地自慢の味を楽しみました。

石の町くにみ・お宝再発見

## 石工フェスin石蔵で石工技術に触れる

旧小坂村産業組合石蔵が8月に国登録有形文化財に認定されたことを記念して、石工（ロック）フェスin石蔵が11月27日、JAふくしま未来小坂支店の石蔵で行われました。

石工フェスでは、町内で石蔵調査を進めている郡山女子大学人間生活学科建築デザインコースの長田城治講師や学生がこれまでの調査報告として、国見石の歴史や石蔵の魅力などについて



女子大生が教える石蔵の「ミドコロ」（講演）

講演しました。また会場内には、石工技術を体験・体感できるさまざまなブースが設けられ、石材加工や鬼瓦作り、石窯ピザ作りやかまごでの炊飯、石臼挽きコーヒー、石蔵宝物探し、石模様ハンカチ作りなど、子どもから大人までが楽しみながら石や石工技術の魅力に触れ、町の「たからもの」である国見石と石蔵の良さを再認識する機会となりました。



石材加工を体験

応援団長・北川大介さんと秋の国見を満喫

## 秋の女性応援団ツアー

秋の女性応援団ツアーが11月18日と19日に行われました。

今回は2回目の応援団長を務める演歌歌手の北川大介さんと、首都圏の女性46人が参加し、秋の国見町を満喫しました。

ツアー参加者は歓迎・結団式後、りんご狩りを体験し、夜は観月台文化センターで交流会が開かれ、国見町の食材を使った手作り料理を楽しみながら、参加した町民のみなさんと交流を深めました。また、北川さんのコンサートも行われ、楽しいひ



北川さんとりんご狩りを体験



あんぽ柿の完成が楽しみです

とときを過ごしました。

2日目は、あんぽ柿の加工体験で、柿の皮むきやひも通し作業に取り組みました。あんぽ柿の放射能検査の様子も見学し、町の特産品であるあんぽ柿について理解を深めました。昼食は農家のお母さんが心を込めて作った料理を堪能し、お別れ会でツアーが終了しました。

今回のツアーには、国見に来るのが2回目という参加者も多く「また来れて嬉しい」という声が多く聞かれました。

若者が地域の未来を考える

## ヤングカレッジ&ミッションを攻略し、国見町を創造せよ

高校生・大学生たちの新しい交流・学びの場「ヤングカレッジ」が11月23日に行われました。

8月に続き2回目の開催となった今回は、藤田商店街を会場に「ミッション（指令）ゲーム」を実施しました。参加者はKDDI（株）の協力により、タブレットや各種サービスを活用しながら、動画や写真撮影などに取り組みました。商店街のたつみや肉店、佐久間パン店、La4区、樋口食品、樋口豆腐店、ひふみ食堂に協力してもらい、



店主の協力を得てミッションに取り組む

各店舗人気商品の順位当てクイズと1位商品の食レポ、国見町をPRするCMづくりのミッションに挑みました。

芋煮会でのランチ交流の後、午後からは「国見若者会議」が行われ、これまでの教育経験を振り返り、今後身につけたい力などについて話し合いました。道の駅国見でも「若者が楽しく集える。一緒に学べる。チャレンジできる場づくり」を企画、実施していきます。乞うご期待！



さまざまな提案が出された若者会議